

2018年 6月		
筆者	所属	千葉県農林総合研究センター 東総野菜研究室
	職名及び氏名	研究員 竹内 大造
題名	花蕾の品質が良い「年内どり」ブロッコリーの優良品種	
備考	【図説明】 図 「年内どり」ブロッコリー優良品種の栽培暦	

ブロッコリーは、家庭用だけでなく業務加工用の需要も安定しており、栽培面積が増加する傾向にあります。冬季に比較的温暖な千葉県では、秋冬どり栽培に取り組みやすく、水田裏作での栽培が広がっています。しかし、秋冬どり栽培のうち、11月～12月に収穫する「年内どり」では、長雨による生育遅延、生育初期の高温や生育後半の低温の影響による花蕾の品質低下が問題となっています。そこで、東総地域の中でも比較的低温の内陸部において、「年内どり」に適する品種を選定したので、は種適期や施肥法を併せて紹介します。

「年内どり」では高温の影響による花蕾の形状不良や、低温の影響により花蕾が紫色となるアントシアニン着色が問題となります。「おはよう」と「アーサー」は、アントシアニン着色が発生しないアントシアニンフリーの優良品種で、花蕾の形状にも優れています。「SYBR-141」は、アントシアニンフリーではありませんが花蕾の肥大が早く、形状が良いため有望です。いずれの品種も、8月20日頃までには種し、9月中に定植しますが、「アーサー」は、高温にやや弱いので8月上旬のは種は避けます。

窒素施肥量は、総成分量で20～24 kg/10aとし、半量を基肥として施用します。ブロッコリーの栽培において大きく良質な花蕾を生産するためには、気温の低下前に葉数を確保することが重要です。窒素吸収量が増える定植3週間後と出蕾期（目安として定植6週間後）にそれぞれ追肥を行うことで、葉の展開や花蕾の肥大が促され、良質な花蕾の収穫につながります。

品種名	種苗会社	8月			9月			10月	11月			12月		
		上	中	下	上	中	下		上	中	下	上	中	下
おはよう	サカタのタネ(株)	●	●	▲					■	■				
アーサー	(株)プロリード		●	●	▲	▲			■	■			■	
SYBR-141	シンジェンタジャパン(株)	●	●	▲	▲				■	■			■	

図 「年内どり」ブロッコリー優良品種の栽培暦

注) 千葉県東総地域における試験結果

凡例 ●：播種 ▲：定植 ■：収穫